

被爆・戦後80年企画

今を"戦前にしない"ために ～沖縄からのメッセージ～

8/7 Thur. 10:00 ~ 12:00

オンライン開催・参加無料

80年前の記憶と、今を生きる沖縄の声。

この二つをつなぐとき、私たちの未来のヒントが見えてくる。

「今を戦前にしない」ために、あたたかでピースな対話を企画しました。

私たちができることを、ともに考えます。



沖縄国際大学大学院
前泊博盛さん



沖縄タイムス
赤嶺由紀子さん

お申込み

- ・右記QRコードからお申込みください。
- ・ZOOMコードは、お申し込み後に自動配信メールでお知らせします。
- ・録画視聴希望の方もQRコードよりお申込みください。事前にお申し込みいただいた方のみに視聴URLをご案内します（期間限定公開）。



締切：8/5

お問い合わせ

パルシステム連合会 企画政策本部 地域活動支援室（担当：植田）
mail:nonbil@pal.or.jp

前泊博盛さん

沖縄国際大学・大学院教授（大学院地域産業政策学科、経済学部地域環境政策学科）

1960年生まれ。明治大学大学院博士前期課程修了（経済学修士）。84年、琉球新報社入社。編集委員、論説委員長、九州大学大学院助教授（国際政治学）などを経て2011年4月から沖縄国際大学・大学院教授（現職）。

著書に『子供たちの赤信号～学校保健室はいま』（沖縄出版）『もっと知りたい！本当の沖縄』（岩波書店）『検証「沖縄問題」』（共著、東洋経済新報社）『沖縄と米軍基地』（角川新書）、『本当は憲法よりも大切な「日米地位協定入門」』（創元社）『終わらない＜占領＞』（共著、法律文化社）『沖縄経済入門』（共著、沖縄国際大学）『資料集 沖縄問題』（編著、旬報社）『沖縄県史 現代』（編著、沖縄県）『観光コースでない沖縄』（共著、高文研）ほか多数

赤嶺由紀子さん

1971年生まれ。沖縄県那覇市出身。琉球大学卒。1997年沖縄タイムス社入社。編集局社会部、学芸部、政経部などを経て、2016年に中部報道部長。2019年政経部長、社会部長、編集局次長などを経て、2024年7月から編集局長。2025年7月から執行役員編集局長。戦後80年の取り組みとして、全国地方紙とネットワークした戦争体験を語る企画「あの時私は」を展開。こども新聞「沖縄戦を学ぼう特別版」を発刊した。

今年8月、日本は原爆と戦争の記憶から80年という大切な節目を迎えます。私たちの憲法は「平和」という宝物を大事にし、争いのない世界を願っています。しかし最近、日本の周りでは軍事的な緊張が高まり、日本も自分の国を守るための新しい方法を考え始めています。特に沖縄では、多くの米軍施設があり、様々な変化が地域のくらしに影響を与えています。

80年前の声に耳を傾け、沖縄の今を知ること、平和な明日をどう守っていくか、できることを一緒に考えませんか。

プログラム（予定）

10：00	開会
10：10	前泊博盛教授 ご講演
10：40	赤嶺由紀子編集局長 ご講演
11：10	対談「今を"戦前にしない"ために」
12：00	閉会

※プログラムは変更になる場合もございます